

第4次佐世保市食育推進計画(案)に関するご意見等一覧表

| 番号 | 提出者 | ページ | ご意見等 | 回答(説明) |
|----|-------------|----------------|---|---|
| 1 | 熊本委員 | 資料2 P2 | 佐世保市食育推進計画の変更点(3次から4次)の第4次 7「学校給食について」 ・「食育の視点を踏まえた各教科などにおける事業実践を行っている学校の割合」と記載されているが、本資料「第4次佐世保市食育推進計画(案)」の中のどこに反映されているかわからない。 | 「食育の視点を踏まえた各教科などにおける授業実践を行っている学校の割合」については、現状値100%、「食育指導全体計画作成率」を指標としました。 国：栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の平均取組回数。 県：食育の視点を踏まえ授業を行っている小・中学校の割合 を参考に新たに推進項目として設定した目標です。 資料3：P27(資料9：P28) 基本的施策毎の主な取り組み 2. 教育及び保育機関などにおける食育の推進の主な取り組みに「児童生徒の食育指導」があります。その内容は、資料3：P41(資料9：p42)に記載の事業内容・事業目的のとおりで、小・中学校における体験活動を通じた食育実施率を指標としております。 |
| 2 | 熊本委員 | P35 資料9：P36 | 2. 教育及び保育機関などにおける食育の推進 7. 学校給食の欄があるが内容が違う | 資料3：P34～(資料9：P35～)記載の内容は、第3次佐世保市食育推進計画のP69～をイメージして作成したものです。第3次佐世保市食育推進計画との標記の違いは、実施事業を基本目標と結びつけたことです。事業を基本的施策毎に整理し、実施することで推進する基本目標はひとつではないため、基本施策毎に基本目標の推進につながる項目に○をつけています。 |
| 3 | 熊本委員 | P41 資料9：P42 | 7. 学校給食の欄があり、より詳しく記載されているがこれも内容が違う | 資料3：P38～(資料9：P39～)の内容は、実施事業の一覧となっており、資料3：P34以降(資料9：P35以降)に整理した事業の進捗管理を行っていくために利用する表です。よって、より詳しく事業の内容や目的などを記載しています。 |
| 4 | 松尾嘉代子 委員 | P22 | 基本目標10「食文化の継承について」新たに推進項目として「郷土料理などに関心を持つ市民の割合」が設定されていますが、佐世保の郷土料理の定義を明確に示しておく必要があると思います。 | 佐世保の郷土料理の定義づけについて、用語の解説に説明を追加しています。 |
| 5 | 川野委員 | P5 | 表の※については○×△等の意味が分かりにくいので、※の代わりに項目を記載いただくか、P6下部にあるような注釈がP5にもあるとよいと思います。 | P5の表の下部にも注釈を記載しました。 |
| 6 | 川野委員 | P7以降 | 図の番号がグラフの下に記載されていますが、タイトルの最初に記載した方がわかりやすいです。 | タイトルの前に図番号を記載するよう修正しました。 |

| 番号 | 提出者 | ページ | ご意見等 | 回答(説明) |
|----|------|----------------|---|---|
| 7 | 川野委員 | P13 | P12「基本目標6」、P13「基本目標9になっているのですが、基本目標「7学校給食について」と「8食育の推進にかかわるボランティアについて」は省略されたのでしょうか。 | P7～は、佐世保市の食育に関するアンケート調査結果による現状と課題を基本目標に沿ってまとめたものです。 基本目標「7学校給食について」と「8食育の推進にかかわるボランティアについて」の2つの項目は、アンケート調査による目標値の設定と評価の項目ではなかったため、分析結果を記載していません。 計画書P7に理由を追記しました。 |
| 8 | 川野委員 | P20 | ①以前の重点課題の「さ・せ・ぼ」は使用しないのですね。覚えやすくかつ親しみやすいと思っていました。 ②全体的なことになるかもしれませんが、 <u>これまでの取り組みを受けて、計画をどう変更したのかももう少し明確にあるとよいと思いました。</u> | ①第4次計画では、「さ・せ・ぼ」をキーワードにした重点課題の設定はしていません。 ②計画をどう変更したのかについては、推進会議の中で変更点について説明予定です。 |
| 9 | 川野委員 | P22 | 9地産地消の推進について 小学5年生→中学2年生の間違いではないでしょうか。 | 中学2年生の誤りです。修正しました。 |
| 10 | 川野委員 | P22 資料9:P23 | 下の図は第3次計画のP37の様に大きくした方が、資料3:P23からの施策の展開がスムーズに入ってくると思いました。 | 図の表記につきましては、別ページ(資料9:P23)として対応しました。 |
| 11 | 川野委員 | P26 資料9:P27 | 資料3:P26(資料9:P27)にある青年期は15歳～となっていますが、(P21・22)目標値設定などではアンケートを実施した対象「16歳～79歳」となっています。 16歳～というのは高校生～という理解でよいでしょうか。 | 16歳～は、高校生以上を表しています。基本目標の目標値設定と、家庭でのライフステージにおける食育推進の年齢区分の表記が異なっていたため、資料3:P26(資料9:P27)ライフステージの年齢の表記を以下のとおり、一部変更しました。 【乳幼児期】(0～5歳頃)、【学齢期】(小・中学生)、【青年期】16～29歳に変更します。 |
| 12 | 川野委員 | P21 | P21・22の推進項目の「16～79歳」について、国・県は20歳以上の現状で目標値を設定しているが、佐世保市の推進項目・目標値が16～79歳で設定されている点は、違和感があります。 | アンケートの対象は16歳(高校1年生)～を対象として実施しました。第3次計画以前の基本目標の成人の目標値には、16～19歳の結果も含まれていましたので、成人という表現ではなく16～19歳も含むことが分かるように16～79歳という区分に変更しました。 アンケートの追加分析では、朝食の欠食について、20歳以上を再掲した結果では、16～19歳を含んだ割合と大きな差はありませんでした。 過去の計画書でも、16～19歳も含んだ割合が現状値・目標値として指標となっていたため、これまでの本市の傾向と比較できるように、第4次でも16～19歳も含めた形で目標設定しています。 |